

道徳教育全体計画(案)

- 児童の実態
- 保護者の願い
- 教職員の願い
- 地域の実態

学校の教育目標
豊かな心と健やかな身体をもち、確かな学力を身に付けた児童の育成

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
市の教育方針

「徳」・・・**え** 笑顔あふれる子
「体」・・・**い** 命かがやく子
「知」・・・**か** かしこさもとめる子

各教科における道徳教育

【国語】 言語感覚・正確な読解力・豊かな表現力を培い、他人を思いやる心情を育てる。

【社会】 民主的な社会の一員としてのものの見方や考え方を培い、国民としての自覚をもち、国際社会に貢献しようとする態度を養う。

【算数】 論理的なものの考え方を培い、物事に対して合理的に追究していく態度を育てる。

【理科】 自然について調べることを通して、自然を養う。

【生活】 具体的な活動や体験を通して、身近な社会や自然に気付き、必要な技能や習慣を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

【音楽】 音楽の美しさ、楽しさを感じ取る心を養い、豊かな情操を培う。

【図画工作】 造形表現や情操を培う。

【家庭】 家庭生活についての理解を深め、家族の一員としてよりよい生活を築こうとする心情を育てる。

【体育】 健康安全について理解し、運動を楽しむとともに、体力の向上を図り、お互いに励まし助け合う態度を養う。

【特別活動】

○望ましい集団活動を通して、個性の伸張を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度を養う。

道徳教育重点目標

◇誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にできる子どもの育成。

◇基本的な生活習慣を身に付け、節度のある生活ができる子どもの育成
◇生命あるすべてをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることの育成

◇社会規範を守り、公德心を持ち、それらの精神を日々の生活の中に生かしていく子どもの育成

「全体計画別業」活用方針

道徳の時間だけではなく、各教科の特質に応じて、「全体計画別業」を積極的に活用し、道徳的価値の自覚と自己の生き方についての考えを深めるなど、道徳性を養う機会を充実する。

学年	指導の重点
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にいる人に親切にする。 ・健康や安全に気をつけ、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。 ・生きることを喜び、生命を大切にする心をもつ。 ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを思いやり進んで親切にする。 ・自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度ある生活をする。 ・生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。 ・約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。 ・生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。 ・生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。 ・公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にし、進んで義務を果たす。

道徳科の指導方針

- (1) 計画的・発展的に指導する。
- (2) 学校の諸活動で考える機会を得られにくい道徳的価値などについて補充する。
- (3) 道徳的価値の自覚及び自己の生き方について考えを深める。
 - ・道徳的価値についての理解とともに、人間関係や他者理解を深める。
 - ・自分とのかかわりで道徳的価値が捉えられる自己理解を深める。
 - ・道徳的価値を自分なりに発展させていくことへの思いや課題を培う。
- (4) 道徳的実践力を育成する。

補充・深化・統合、道徳の価値の自覚

【学級・学校の人間関係や環境の整備、生活指導、生活全般】

○基本的な生活習慣を身に付け、学校のきまりを理解し、規則正しい生活ができるようにする。

○教師と児童、児童相互の人間関係を深める。

○自ら課題を見付け、自主的な学習態度を養う。

○安全な環境を整備するとともに、正しい言語表現、信頼し合う人間関係を育てる。

○教育相談の充実

【特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導計画】

○開かれた学校を目指し、地域の人々の協力体制をつくる。

<図書ボランティア等>

○地域の人々や伝統行事に関心をもつ態度を養う。

【総合的な学習の時間】

○自ら課題を見付け、自ら学び、考え、判断し、解決する資質や能力を育てる。

○自己の生き方を考える態度を養う。

○自らを生きし、望ましい人間関係を育てる。

○新しい社会的課題に気付き、積極的にかかわろうとする意欲を育てる。

【外国語活動】

○言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

○日本と外国の言語や文化について体験的に理解を深める。

心を育む指導計画

- 学校全体で取り組む（豊かな）体験活動計画
<ボランティア清掃、スマイル班活動、ともだち集会、なかよし集会など>
- 具体的な道徳的実践計画
- 特別支援教育の充実

家庭や地域社会との連携

- 保護者や地域社会との共通理解を深める。
- 保護者や地域社会との相互理解・相互協力によって道徳教育の充実を図る。
- 地域の自然や文化に親しみ、郷土を愛する心を育てる。